



東日本大震災の発生から、約1カ月が経過。今年も桜の花が咲き、新しい若芽の勢いも増している。東北の地に向かい桜前線は北上する…(大阪市内で)

株式会社 日本物流新聞社 ©

〒550-8660 大阪市西区立売堀2丁目3-16(山善ビル)
TEL.(06)6541-8048(代) FAX.(06)6541-8056
E-mail: nb-osaka@nb-shinbun.co.jp
ホームページ: http://www.nb-shinbun.co.jp/
〒216-8505 神奈川県川崎市宮前区雲崎156
TEL.(044)872-0431(代) FAX.(044)872-0438
E-mail: tokyo@nb-shinbun.co.jp
年間8,400円(税込) 振替口座00910-3-23940

発行所 本社 東京本社 監料

視点

桜、咲く…。しっとりとしたお花見に

東日本大震災に直面し、各企業や自治体・公的機関などでお花見やイベントの自粛が相次いでいるが、形式的な自粛が、本当に復旧・復興に役立つかは良く考えなければならぬと思っす。お花見をすることが問題なのではなく、その行い方が問題なので(お花見の)自粛はすべきではないと考えます。

お花見では、ほか騒ぎや買い占めも不要です。ただ、3杯の杯を飲み干し、仲良く過ごすことは、不謹慎ではないと思ふのです。

1杯目のお酒は、被災地の方々のご無事と1日も早い復旧復興と共に、尊い御霊に捧げて飲む。2杯目は、いまここに生きていられる喜びに感謝するため。3杯目は、多くの同僚や仲間や地域の皆さんに支えられて、自分が生きていくのありがたさに感謝して飲む。

やがて、被災地の東北各地にも桜前線が北上し、がれきの上を桜の花びらが舞い飛ぶことでしょう。元気に生きていくの私たちが、被災地の方々のご無事と御霊を偲ぶ思いを桜の樹に託し、桜の花々に思いを込めたメッセージを被災地に運んでもらえるように…。

爾々と、黙々ということでもなく、また、節度や礼節といった肩ひじ張ったものというよりも、一人ひとりが祈りと願いを込めて、それぞれの人のそれぞれの祈り方、願ひ方で、うつむかず空に映える桜を見上げてお酒を酌み交わすことは、日本を元気に、桜の下に皆がひとつになって明るい光で包み合う身近で尊い行為だと思ひます。

被災地の復興で、雇用を生み出し、財政支援も行う必要がある、過度な自粛による経済の停滞は避けることこそが、被災地を応援するために私たちにできることのひとつです。

復旧・復興には時間がかかります。今年だけ自粛すれば済む問題ではなく、来年も再来年も、5年後も20年後も、被災者の方々はこの度の震災や亡くなられた命を忘れることはないでしょう。

桜の幹に手をあてて、風に舞う桜の花びらに被災地への祈りを込めて、しっとりとした「お花見」を、私はさせて頂きたいと思ひます。

(日本マネジメント総合研究所理事 長・戸村智憲)